

令和5年度の重点取り組み予定・計画

落合 図書館

R4年度			
取組内容	進捗状況	改善すべき点(課題)	完了/継続
1 図書館サービスご意見番等を設置して、要望などをさく。(アンケートの実施)	着手	市民からのご意見や図書リクエストを収集し、運営に反映するため、効果的な意見収集の方法を検討・実施する。	継続
2 市立図書館から学校に本を貸し出す。	着手	管内の一部の学校・放課後児童クラブの利用があるが、まだ定着・周知が行き届いていないため、利用促進が必要。 ※定期：河内小、きさらぎ、時々：落小	継続
3 真庭高校との連携	着手	地元高校と情報交換して、健康・医療・福祉・子育て・農業・経営ビジネスなどの専門蔵書等の充実と生徒等の利用促進を図る。真庭高校の図書委員と連携をとり、図書館を有効に活用してもらえるような仕組みを構築中。	継続
4			
5 ①公民館とコラボしたイベントを実施する。 ②伝言・掲示板の設置	着手	①引き続き公民館事業とコラボのイベントを実施する。※注：イベントが同日に重なったこと等があったため、なるべく被らないように担当者間等の連携が必要。 ②伝言・掲示板の設置については、図書館に設置できるスペースが十分確保出来ない為、他の方法を検討する必要がある。 ・行政機能・公民館・図書館・保健センター・体育館が一体的であり、多岐の目的で多数の来行者や行事開催のある「落合総合センター」の強みを生かした広報や図書案内、誘客(利用促進)の方法を検討する。	継続

R5年度の重点取り組み予定・計画 (【そ】図書館そだて会議、【協】図書館協議会での意見・アイデア)				
柱	取組内容	進捗状況(年度途中)	年度末まとめ(やってみてどうだったか、来年度以降どうしていくか)	完了/継続
1	行動の柱1：公共図書館としての存立基盤の整備 図書館そだて会議などで広い世代から意見を収集し、利用しやすい図書館を目指す。			
2	行動の柱2：子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進) ・小学校や児童クラブ、こども園などに定期的に本を貸し出し、子どもたちが本に触れる機会を提供する。 ・乳幼児健診に合わせて本の展示を行う。			
3	行動の柱3：地域資源の再評価と新たな価値の創出 真庭高校の図書委員を中心に連携を強め、図書館を有効に活用してもらえるような仕組みづくりをする。【そ】			
4	行動の柱4：知的探究に応えるコンテンツ戦略 ※新規 中央図書館から年3回本を借受し、展示・貸出を行う。その他県立図書館や市内他館とも相互貸借を行い、利用者に案内する。			
5	行動の柱5：市民が繋がる地域交流拠点創出 公民館事業とコラボしたイベントを実施する。			